



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

後悔しない人生、言い訳しない人生

文星芸術大学附属中学校・高等学校校長 上野憲示



人は時に後悔する。先人曰く、後悔先に立たず。ならばと言って、後悔を先に立たして後から見れば、杖を突いたり転んだり、である。人生を振り返り、後からああだった、こうすれば良かった、と言うのは誠に惨めだろう。

後悔しないための秘訣は、「できない」という言葉を己の辞書から消すことにある。

課題を前にして、「それは私にはできません」と言

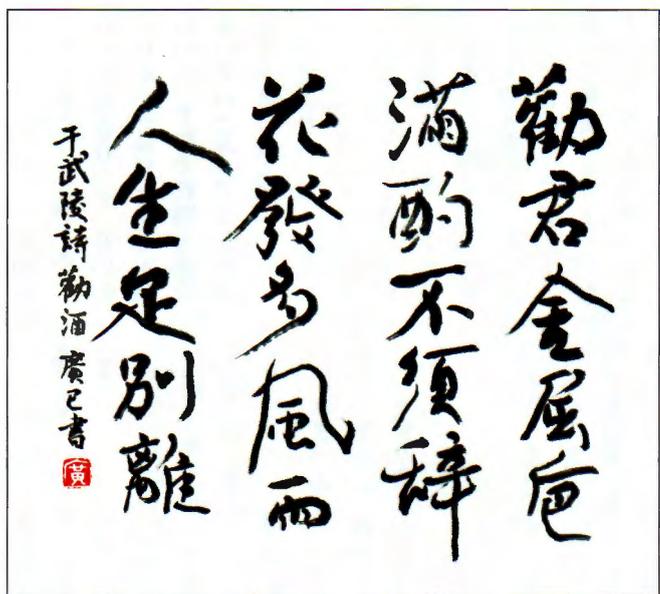
って済ませてしまう場面を見ることも少なくない。確かに身に余る課題に右往左往して、終いに「できませんでした」と言うよりは、「できません」と予め断ったほうが潔いと言えなくもない。結果として「できなかった」時に、狐と葡萄のように「どうせこんな葡萄は酸っぱくて不味いのだから」と防衛機制を発揮し合理化するよりも後味の佳さは残る。できるならば、Sour Grape - 負け惜しみは言いたくない。

「がちりマンデー(TBS)」という番組に登場するのは所謂「勝ち組」に属する人々である。それらの人々はこのような場面

でも「できない」と考えることはないように見える。だから「がちり」なのだろう。かつて取り組んだ経験のない課題に取り組み、その解決法を考え、改良を加え、成果を上げる。この番組の中では、課題とは「できない」から課題なのではなく、「解決できる」から課題なのだと聞いたことがある。

近頃、「No / because」、「No / but」、「Yes / but」、「Yes / and」と言う思考に関する表現に出会った。「難しいですね／なぜならば…」、「できません／そうは言うもののこういう事情が…」、「そうですね／でも実現にはこんな問題が…」、「やりますしよ／それにはこう

文星芸大附now!
は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発行されました。



教頭 大木 廣巳 書

いうことが必要です」と言うようなことを表している。望むらくは「No(できない)」と言わない、言い訳しない人生を生きてみたい。少なくとも「Yes / and」という思考をモットーとして生きてみたいと思つ。

後悔しない人生、言い訳しない人生とは、「何もせずに済ませる人生」ではなく、「何かを成し遂げる人生」に他ならない。このよ

- 1p <巻頭言 学校長より>
- 2p <高校 卒業生へ贈る言葉>
- 3p <高校 卒業生表彰者一覧>
- 4p <高校 輝け!! 文星健児>
- 5p <中学 卒業生へのメッセージ>
- 6p <中学 社会体験学習 スキー教室>
- 7p <中学 立志式 誓いのことば>
- 8p <文星フォトギャラリー>

うな人生を送ることは極めて幸せなことだろう。あなた方の人生もそうであるように、切に願うものである。

中学校行事予定

- ▽三月
- 1日(金) 高等学校卒業式
- 2日(土) スケート教室
- 11日(月) 三年生を送る会
- 13日(水) 表彰式(卒業式予行)
- 14日(木) 第六回卒業式
- 16日(土) 新入生オリエンテーション
- 22日(金) 一・二年生修了式
- ▽四月
- 4日(木) 在校生登校日
- 5日(金) 入学式
- 8日(月) 第一学期始業式・対面式

高校行事予定

- ▽三月
- 1日(金) 第六十五回 卒業証書授与式
- 4日(月)~7日(木) 学年末考査
- 7日(木) 身体計測・個人写真撮影
- 8日(金)・11日(月) 追試験
- 16日(土) 新入生オリエンテーション (第一回)
- 22日(金) 第一・二学年修了式
- 23日(土) 新入生オリエンテーション (第二回)
- 25日(月) 在校生登校日 (教科書購入)
- ▽四月
- 4日(木) 在校生登校日
- 5日(金) 入学式
- 8日(月) 第一学期始業式・対面式

高等学校

卒業生へ贈る言葉

人生別離足る



副校長 富田 誠

酒を勧む
君に勧む 金屈屈
満酌 辞するを須いず
花発いて 風雨多し
人生 別離足る

(于武陵)

人生は出会いと別れの繰り返しである。出会いがあれば、別れがある。別れがあれば、次の新しい出会いがある。ともに過ごしている間を無為に過ごさず、大切にしたい。大人であれば金屈屈(金の盃)に酒を注ぎ、大いに酌み交わすこともある。二十歳前の君たちに酒を勧めるわけにはいかないが、会話を愉しみ、互いの胸のうちを理解し合い、親しい友人となるように時を過ごしてほしい。別れの後、再

び出会うこともある。その時の喜びを分かち合うことも、またよきこと哉、と思う。

冒頭の漢詩の最後の行を、井伏鱒二は「さよなら」だけが人生だと訳しているが、どうか、別れの時を惜別の情をもって迎えてほしい。

雄飛の時



第三学年総務 山口 和正

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。君達の高校生活は楽しく、熱く、ときには辛くもあった充実した三年間だったことと思います。この三年間、君達が夢に向かって努力する姿は、私をいつも熱くさせてきました。それぞれが目標に向け進むことができたのも、新しい人生のステージに上がることができたのも、君達一人ひとりの真剣な努力の成果だと思えます。しかし、その成功は君達を見守ってくれた多くの人達の温かい助けがあったから

こそだということをお忘れないうで下さい。この先の人生においても親兄弟・友人・恋人など、支えてくれる人達への感謝の気持ちをお忘れず、その時その時において全力を尽くしてほしいと強く思います。

別れと出会い



第三学年主任 大越 研介

三年生諸君、卒業おめでとう。我々三年教職員一同君達を祝福している。ともに、一抹のさみしさも感じている。「別れ」という言葉が心に浮かびしばし頭を垂れる。縁あって、文星芸大附高で出会い、ともに暮らした三年間、楽しい事つらい事、いろいろな時間を共有してきた仲間達の顔が去

来する。しかし今こそ別れの時である。手を握りあい、肩をたたき合せて、互いのこれからの成長と幸せを願いつつ、それぞれ別な道を歩いていこう。でもこれからずっと一人で歩いて行くわけではない。たくさんの「出会い」が待っているはずである。一生付き合っている友達に出会うこともあるだろうし、何より、人生を分かち合う愛する人に巡り合うことになるのだから。期待に胸をふくらませて生きていこう。人生は、そんな別れと出会いの繰り返しだと思おう。

学年担当教員より

向き不向きより前向きに。これからも、色んなことに挑戦し続けてください。

(副主任 小菅 光春)

新番組が始まります。どんなシナリオを描くかはあなた次第です。素敵なドラマに仕立ててね。

(生徒指導 直井 秀幸)

できることは確実にやり遂げる。これを積み重ねること。

(佐藤 史徳)

自分の真の「声」に耳を傾け、新天地でも失敗を恐れずに力強く歩んでいってください。

(福田 和弘)

これまでの、そしてこれからの出会い、経験を大切にして彩り豊かな偉大な人生を築いて下さい。

(雪野 賢)

未知を恐れず真つすぐ突き進んで下さい。そして、いつでも古巣に遊びに来て下さい。

(田中可代子)

よく学べよく遊べ。

(中根 雅之)

これまでの友情、そして今後の出会いを大切に、一歩一歩着実に歩んでいって下さい。

(木村 憲子)

一度きりの人生。失敗を怖れぬ積極性、踏み出す勇氣、ユーモアを笑う心の余裕を忘れずに。

(野口 秀敏)

息子たちへ、世の中には色々な人がいます。特にきれいな人のお姉様に騙される事がないように。

(森 玲子)

自己愛と利己心は別物です。周囲と調和しつつ己の道を邁進し、美しい男になつて下さい。

(金子 真一)

「後悔」からは何も生まれない。「後悔」ではなく、「反省」できる人間になりましょう。

(河上 倫典)

君達と過ごした三年間は、とても楽しく充実したものでした。ありがとう。

(加藤 総明)

これからの長い人生をあせらず、あなどらず、たくましく歩んでいって下さい。

(尾田 大輔)

感謝の気持ちを常に心に！

(船木 勝)

振り返れ、歩きたせ、悔やむだけでは変わらない。果てのない昨日より明日は少しましになれ。(伊沢 修一)

(新井 隆義)

見逃し三振よりは空振り三振を。バットを振り続ければそのうちホームランになるかもしれません。

(野村 勇司)



第10期生徒会会長
小森 信之
(3年3組)

共に考える

英語では「卒業式」を「commencement」と言います。この語のもう一つの意味は「始まり」です。私たち三年生は二年生へとバトンを渡し、それぞれの道へと歩み出します。

この語を分解すると面白い意味が浮かび上がります。「com」は「共に」「そして」「with」は「考える」という意味です。



第11期生徒会会長
長瀬 健太
(2年4組)

充実した学校生活

第十一期の生徒会長になりました。セーフイバーログセナです。一年間宜しくお願ひします。

私は、学校という場所が我慢を覚えるところだと考えています。私たちは、毎朝学校へ行き、友達や先生方とともに楽しい学校生活を送っています。しかし、楽しいだけでは人間として成長できないと思います。

表彰者一覧

学校長賞 三年十組

(学年クラス皆勤)

十二カ年皆勤賞

阿久津友貴
小沼 佑耶

六カ年皆勤賞

寺田 篤弘
小沼 佑耶

三カ年皆勤賞

水戸部将志
他六十八名

一カ年皆勤賞

星 正憲
他百十三名

日本私立中学・高等学校
連合会会長賞

竹村 健太
福田 学

全国商業高等学校協会
理事長賞

全国商業高等学校協会主催
検定試験四種目一級合格者

全国経理教育協会会長賞
吉池 研雄

宇都宮商工会議所会頭賞

池田 友則

産業教育振興中央会会長賞

内田 大貴

栃木県産業教育振興会
会長賞 鈴木 直人

東関東吹奏楽連盟賞
永山 心成

栃木県吹奏楽連盟賞
入江 優知
他二名

栃木県バスケットボール
協会優秀選手賞
柴田 将矢
他四名

栃木県高等学校体育連盟
優秀選手賞 阿久津亮汰
他十六名

部活動精励賞 山崎 貴弘
他二十名

校内読書感想文コンクール
学校長賞(最優秀賞)
野澤 尚純
岩本 壮史
岡崎 響
他六名

作品賞
努力賞

校内漢字テスト年間優秀賞

結城 拓馬
他三十一名

検定試験取得状況
(二月末現在)

第75回全商簿記検定

【一級】 近藤 将太
【会計一級】 小池 佑斗

【二級】 加藤 倫平 橋本 拓磨
福田 昂平 渡邊 尚樹

【三級】 鈴木 史也 瀬浪 悠真
安達 佳宏 安納 惇
石川 貴之 石川 亮太
上澤 玲良 遠藤 岬
大久保賢人 萩野佑次郎
小野寺達哉 表谷周太郎
神山 文 櫻澤 秀明
鈴木 敦也 高橋 楓哉
田口 俊樹 竹林 祥希
竹村 拓馬 成瀬 裕介
本間 悠輝 和田 悠

第27回全商商業経済検定

【一級】 吉池 研雄

【二級】 菊田 誉 諏訪 直人
根小屋幸輝 三輪 佳佑
大森 翔真 小林竜太郎
瀬浪 悠真 石川 貴之
磯部涼太郎 遠藤 岬
表谷周太郎 神山 文
高橋 楓哉 船山 光彦

第58回北関東簿記検定

【一級】 岡嶋 一輝 近藤 将太
栃木 哉輝

【会計一級】 大方 海 紙本 有康

栗田 慧 小池 佑斗
吉成 敦

【二級】 二瓶 拓哉 安達 佳宏
石川 貴之 石川 亮太
上澤 玲良 遠藤 岬
大久保賢人 落合 稜
小野寺達哉 表谷周太郎
神山 文 坂永 空嶺
櫻澤 秀明 高橋 楓哉
田口 俊樹 竹林 祥希
竹村 拓馬 成瀬 裕介
船山 光彦 本間 悠輝

【表計算二級】 清水 雄斗

【表計算三級】 田崎 一茂 戸野塚洸紀
岩本 雅也 生沼 賢人
齋藤 峻佑 高橋 祐貴
坪山 大輝 永田 貴規
野中 大輝 山口 有都
蓬田 巧巳

食物調理技術検定

【二級】 五十四名合格
フォークリフト特別教育修了
四十名
アーク溶接特別教育修了
四十五名
高所作業特別教育修了
四十六名
小型車両系特別教育修了
四十六名
普通救命講習修了
八十七名
乙種第四類危険物取扱者
遠山 直行

輝け!! 文星健児 部活動報告

卓球部

全国選抜選手権県予選

石井選手優勝!!

一月六日(日)に行われた全国選抜卓球選手権大会県予選シングルス決勝、本校の石井慧選手(普一年)と菊地真澄選手(普一年)が全国大会の切符をかけて対戦した。接戦の末、石井選手が県大会を制し、三月に北海道で行われる全国大会出場を決めた。

東京卓球選手権県予選

文星現役・OB組優勝!!

一月十四日(月)に行われた東京卓球選手権大会(一般の部)県予選ダブルス決勝、本校卓球部の小堀有介(普二年)・太田英明(本校OB)組は江村・須藤組(作新学院)を破り、三月に東京で行われる本選出場を決めた。

バスケットボール部

県新人大会2連覇

関東新人大会へ

一月十九日(土)、二十日(日)に県高校新人バスケットボール大会が開催された。迎えた決勝リーグ。本校バスケットボール部は宿敵宇都宮工業を僅差で下し、昨年に続き全勝で県大会を制覇。二月九日(土)、十日(日)に山梨県で開催された関東

新人バスケットボール大会本選に出場した。

関東大会一回戦。本校勢は幕張総合高校(千葉)と対戦し、惜しくも敗退した。

柔道部

全国選手権県予選

団体3位・廣澤選手準優勝

一月二十日(日)に行われた全国柔道選手権大会県予選大会団体の部で、本校柔道部は準決勝で白鷗足利に敗退したものの、順位決定戦で作新学院に勝利し、3位に入賞した。また90kg級で本校の廣澤甲如選手(普二年)が決勝戦で熊本選手(國學院)に敗退し、惜しくも準優勝となった。

剣道部

県新人大会団体3位入賞

一月十九日(土)開催された、県高等学校新人剣道大会に、本校剣道部が出場。準決勝で佐野日大と対戦し、代表戦までもつれ込むも惜敗し、3位入賞となった。

テニス部

中部支部大会全部門優勝

一月二十六日(土)から行われた中部支部テニス大会に本校テニス部が出場。シングルス・ダブルス・団体いずれも本校勢が制覇し、強さを見せつけた。

センター試験受験者 激励会

大学入試センター試験前日の一月十八日(金)、本校中高一貫棟にて激励会が行われた。

「合格」はちまきをきりりと締め緊張した面持ちの三年生たちは、理事長先生や校長先生からは励ましの言葉を、二年生からはエールを受け、受験本番に向けて闘志を新たにしていた。

スカイリリー

一月十七日(木)、総合ビジネス科三年十二・十三組の生徒は、東京スカイツリー見学に行った。

スカイツリーに到着後、引率係の方が、展望台に上る唯一のエレベーターまで案内してくれた。団体専用エレベーターはプラネタリウムのようなものが散りばめられ、それに目を取られているとあっという間に地上350メートルの展望デッキへと上昇していった。

デッキから地上を見下ろすとミニチュアのような東京の街並みと、かつての東京タワーの佇まいが哀愁を漂わせているのが何とも言えなかった。生徒達も日本人であれば一度はと思う東京スカイツリー見学ができ、満ち足りた表情であった。

吹奏楽部

一月二十六日(土)、栃木県教育会館大ホールにて、第十四回文星ジョイントコンサートが開催された。

第一部「文化部ステージ」では、本校和太鼓部、文星女子高バトントワリング・吟詠詩舞・合唱部の熱演が、観客を大いに沸かせた。和太鼓では力強さが、女子のパフォーマンスには女性ならではの美しなやかさがそれぞれ表れていた。

文星散歩道

(題字 大木教頭)

「あつ、貧乏ゆすり!」
「つて言われたら、非難された気になって落ち込んでしまいます。でも「おつ、さりげない足の筋トレ中だね?」つて言われたら、笑っちゃうし悪くない気分です。」

高校生が考案し今や書籍になっている「ネガボ辞典」は、ネガティブな言葉をポジティブな言葉に変換しようというアイデアが満載です。辞典によれば、「空気が読めない」は「周りに流されない」

第二・第三部は文星ジョイントバンドによるステージ。第二部「吹奏楽ステージ」では県吹奏楽コンクールで銀賞を受賞した曲をはじめ、エネルギーシユな演奏が繰り広げられた。第三部「ポップスステージ」では、昨年の紅白歌合戦に大トリで出場した、「いきものがかり」の曲をはじめ、コパカナータなどのテンポの良いリズムの曲が登場した。

ホールに響き渡る音は優雅な余韻を残していた。

モノは考えよう!?

安達 佳奈子(英語科)

「最悪の事態はめつたに起こらない」とも言います。とすれば大概の一見ネガティブな出来事もポジティブな感情に変換できるかも、ということなんです。「自転車で転んだ!」「痛い!最悪!」より、「あー、大げがにならなくて良かった!」「友達とケンカした!」「正直な気持ち伝えて、もっと仲良くなるチャンス!」というふうに。

このネガポジ変換を習慣にしていくと、何だか自分がとても幸運で幸せな人間に思われてきます。消すに消せないネガティブな気持ちは心の奥にぐっぐと留めて、発する言葉(声・文字)はポジティブに変換する。聴覚・視覚からもポジティブな刺激を与えることで、出来事の印象は「良い面」がより強く心に残ることになるようです。皆さんの心が、うれしい言葉と幸せな記憶で満たされま

予餞式

二月二十日(水)に本校体育館にて予餞式並びに予餞会が実施された。

式は厳粛に執り行われ、三年生達は自身に贈られる言葉を心に刻んでいた。予餞会後は後輩達の進行の下、芸人によるステージ、在校生、職員のパバンド演奏が場を大いに盛り上げた。

在校生、恩師たちの「餞」に胸を熱くした三年生の表情は、新たな一歩への希望で溢れていた。

中 学 校

卒業生へのメッセージ



副校長 中山 一郎

「勉強をするに最善の場所というものはない」

禅の言葉に「直心是道場」(じきしんこれどうじょう)というのがある。

浅学の私には本来の正しい解釈はできないが、生かじりをすれば、「直心」とは何の疑いも持たない素直でひたむきな心。「道場」は道を究めるべく修行を行う場所、と考えられよう。武道や書道、茶道、華道などとかく「道」のつくものは「僕にはムリムリ」と近寄りが大きく考えられがちである。しかしこれを「勉強」と考えてみるとより身近に感じられる。「直心」をもてば何も決まった道場など必要としない。混んだバスや電車の中でもできる、ということである。生徒諸君！勉強は何時でも何処でもできるものです。



教 頭 大野 薫

皆さんとの出会いは昨年の四月、全員の名前を覚えたのは那須高原自然の家での宿泊研修の時でした。一人ひとりの立派な態度や行動に触れて皆さんの素晴らしさに感心し、所員の方々からのお褒めの言葉に誇らしい気持ちになったことを思い出します。

いよいよ卒業ですね。卒業していく皆さんがより大きく羽ばたいていくために「謙虚に」という言葉を贈りたいと思います。吉川英治の言葉に「我以外皆我師」という言葉があります。自分以外のものは皆自分に何かを教えてくれる師であるという意味です。自らの未熟さに気付き、学ぼうとする謙虚な姿勢をもつ者には必ず手が差し伸べられ、成長していけると思うのです。本校校訓のひとつに「他人を敬へ」がありますが、自分以外の人を皆素晴らしいと思えるような心、謙虚さをもって成長していったほしいと思います。



3学年主任 松本 悦子

会うは別れのはじまりといいますが、三年生の皆さんがもう附属中学校を卒業するのかもしれない、あらためて三年間の時の流れの早さに驚かされます。

最後の男子だけのクラスでしたので、男同士じっくりと友情を深められたのではないのでしょうか。他人を責めるということがなく、どんなことも受け入れることができるクラスでした。

三年間いっしょに社会科を勉強しましたが、物事をじっくり・深く調べられる資質を持った皆さんでもありました。修学旅行や雄飛祭、放課後毎日頑張った試験勉強等々いろいろ思い出は尽きません。卒業するのはさみしいですが、ほとんどの皆さんが高校生になっても同じ校舎で勉強するのですから毎日会えますよね。体に気をつけて立派な高校生になってください。皆さんのこれらの活躍を祈ってやみませぬ。



3年担任 阿久津俊彦

早いもので、もう三年が過ぎてしまいます。

第六期生男子十六名は、文星中最後の男子だけのクラスとして、歴史的な卒業生です。このクラスは、個性豊かな集団で、一年生の時はどうなるものと心配でしたが、卒業を迎える今では、顔つきも言動もがらりと変わり、この三年間で確実に成長してきたことをとてもうれしく思います。

男女共学や職場体験、様々な発表会など、まさに文星中改革のど真ん中を歩んできた君達は、新しい事を行う度に、「嫌だ、嫌だ」と言いながらも一生懸命取り組み、後輩へたくさんのことを示してきました。君達が残してきたことは、これからの文星中の礎となりました。これからの人生では、失敗をおそれず、何事にもチャレンジ精神をもって、大きな人間を目指してください。

卒業おめでとう



3年副担任 大石 雅美

ご卒業おめでとうございます。

この文星附属中学校で過ごした三年間はいかがでしたか。良き仲間と出会い、多くの物事を乗り越え、成長という財産を手にしたことと思います。そして、皆さんは卒業後も、幸福に包まれたり、時には困難に立ち向かったり、その先にある「何か」を目指し成長し続けていくことでしょう。これから、皆さんには「夢とそれを叶える力」を培ってほしいと思います。

夢とは「強い願い」です。夢に「計画」を掛け算すると、それは「目標」になります。目標に向かって「行動」を起すこと、夢は「希望」に変わります。そして、その行動を「持続」したとき、希望が「実現」するのです。夢は見るものです。そして希望は叶えるものです。夢を希望に変えていく力を持つて、たくましく成長していただくください。

特集 体罰ゼロの学校づくり

全国的に問題となっている体罰問題に関して、本校におきましても、絶対に体罰のない学校運営につまみして、改めて職員の間で共通理解を図りました。特に運動部の活動中、生徒指導の場面での指導に関しては、生徒と一緒に考えて考え、課題等を解決していく姿勢を大切にしていきたいと考えています。

そもそも体罰は学校教育法で明確に禁止されています。中学校では、教員を対象とした研修を行い、法律の順守を徹底していくことを再確認いたしました。さらに、今後も積極的に教員対象の研修会を開き、指導力の向上に力を入れてまいります。保護者の皆様におかれましては、ご家庭でのお子様の变化に気を配っていただき、些細な問題でも学校と協力し、解決を図り、生徒たちが安心して学校生活を送れるよう、ご協力いただければ幸いです。

学力診断テスト

中学三年生は、本校の高校入試と合わせて、進級のための学力診断テストを受験しました。学力診断テストを終えた三年生が、来年度学力診断テストを控える後輩に向けて、受験体験記を書きました。ご紹介させていただきます。

三年一組 奥野 拓也

僕は学力診断テストを受けるにあたって勉強をサボりすぎてしまったと思いましたが、本格的に勉強をしようと思うことが一度もなかったです。正直テストも自信はありませんでした。そんな生活の中で分かったことを書きます。

まず勉強はなにをどのくらいの時間をかけてやるか決めてからやる方がいいと思います。どれだけやるか目標がないとやる気がなくなってしまう。もし自分に勉強をする気持ちが無かったら、決めた時間やったら少し休んでいいとか考えながらやると、比較的楽な気持ちで頑張ることができると思います。

次に過去問でいい点数を

取ったからと言って油断しないことが大事だと思います。実際過去問でいい点数を取っていたとしても、もちろん採点者は違うわけだし環境も違います。過去問で基準点よりも上だったとしても本番ではその過去問の点数より二十点低いとか三十点低いということが結構あります。過去問を自分で解いて採点するとどんな人でも甘く付けてしまうものです。先生に採点してもらったとしてもそれでも実際の採点はもっと厳しいと考えたほうが妥当だと僕は思います。実際受けてみて採点は厳しいなと思いました。

最後に本番でつまらないミスをする事です。つまらないミスで基準点に達することができなかつたりするとかなり凹みます。もし時間が早く終わってしまったら自分が書いた答えを見直すだけでなく一度文章を読みなおしてください。すると結構読み間違えていたりするものです。本番での二点、三点はとても大きいミスです。各教科つまらないミスで三点も落としてしまっていたらとれたはずの点

数よりも十五点も低くなってしまう。なんとしてでもミスはしないつもりで点を取りに行ってください。いくらケアレスミスだったとしても終わってからは取り返すことはできません。あとで後悔しないようにミスだけは減らすようにしましょう。僕はこれらを怠ったため、自分の理想に届きませんでした。

以上三つの点に気をつけて、後悔しないように勉強に取り掛かるべきだと思います。

社会体験学習

中学三年生は、二月七日(木)に、浅草方面へ社会体験学習に行ってきました。見学場所は、すみだ水族館、東京スカイツリー、浅草寺です。



ソラカラちゃん

スキー教室

中学校一二年生は、二月五日(火)〜七日(木)に、軽井沢プリンスホテルスキー場へ行ってきました。初心者から上級者まで、それぞれのコースに分かれ、ウィンタースポーツを楽しみました。生徒の感想を一部ご紹介いたします。

一年一組 狐塚 葉月

一日目は、基本的なことから細かい指導をしていた。この日は一度だけリフトに乗って、何度も何度も転びながらゆっくりと滑った。もう景色どころではなくて、雪山に立つことが精一杯。本当にこれで滑れるようになるのかと不安な気持ちがかみ上げた。

二日目は、天候が悪く、大粒の雪が降っていて、かなり辛かった。でも、一日目より転ぶ回数が減って、ターンもできるようになった。

インストラクターさんが「スキーは遊び。キャーと叫んでも良いから、そんな真面目にやらなくていいよ。」とおっしゃった。その言葉のおかげで、私は気楽に楽しんで滑ることができた。終

わった後、本当は自由滑走があったが、天候が悪かったため、雪遊びになった。雪遊びも楽しかったが、いつしか私は「もつともつと滑りたい!」と思うようになっていた。部屋へ戻っても、友達とスキーの話ばかり。すごく楽しい一日となった。

三日目は、頂上へ行くためのリフトに乗った。なぜだかインストラクターさんが選んだのは、上級者限定コース。みんな口をそろえて「無理!」と言っていたが、誰ひとり転ばなかった。途中、三十度の斜面をのぞいたが、私には九十度に見える。そこを滑っている人もいて驚いた。最後にインストラクターさんが、「最初は、みんな上手になった!」とおっしゃっていた。いままですべて縁の無かったスキーに行くのが、また来年も楽しみにになった。

一年二組 鈴木 弥沙人

スキーをする感覚を覚えているか不安でしたが、意外とすぐに滑れるようになりました。浅間山が見える軽井沢のスキー場はコースに設置されている機械で人

工の雪を降らせることが出来るようでした。この人工の雪と自然の雪との区別がよく分からなかった。スキーの形は形にあって、結晶が出来るか出来ないかというものでした。固さも変わってしまうのだそうです。雪の形でそこまで違うとは驚きました。コーチは、皆で滑るときに、いつも後ろ向きで滑っている事に気付きました。改めてさすがだなと思いました。

一日目、最大傾斜角を誇るコーチを見せられたとき、足がすくんでしまったのですが、最終日にはこのコーチを実際に滑ることになりました。このスキー場で一番急な角度のコースというだけあって、速度を落とす事が非常に難しく、転ぶことで恐怖感さえ抱いてしまっていました。なんとか滑り終える事ができて良かったです。この三日間で、スキーが上手になったので、コーチにはとても感謝しています。またこのコースを滑ってみたいと思っています。

立 志 式

二月十三日(水)に中学二年生を対象として立志式が行われました。二年生一人ひとりが将来を見据えた志を立てました。式では、生徒の代表者が誓いのことばを述べ、その後、二年生による立志記念発表会が行われました。

誓いのことば

二年一組 唐澤 初奈
 将来仕事に就いた時に働く上で大切なことは、自分がその仕事を好きになれるか、楽しめるかということだと思います。しかし、仕事にはもちろんつらいこともあると思います。そのようなことがあっても、その仕事に生きがいを見つけ、毎日楽しいと思える仕事に就くことができるように今から勉強などを頑張っていきたいと思っています。
 私は将来、空港で働くグランドスタッフや航空管制官になりたいと思っています。私は飛行機が好きなので、飛行機のすぐ近くで働けると思うとわくわくしてきます。この夢は小学生の頃から考えていたのですが

「これになる」と決心したのはつい最近です。母は「やっぱり、自分の好きな物で就職するのが一番良い」と言っていて応援してくれています。将来について決め手となったのは、母の言葉ももちろんですが、担任の井上先生のアドバイスなどもあります。私が空港で働く職業を考えていると相談したら、そのためにはやはり、英語をたくさん勉強しないと行けないことや、どのような大学に行つてどのような学科に入ったほうが良いかなどを、丁寧に教えてくださいました。そのおかげで自分を勉強するといいかなど具体的な目標を持つことができました。

私は将来、自分のなりた職業に就くことができるように、特に英語の勉強に力を入れていきます。私の分の伝えたいことについての説明が下手です。でも、グランドスタッフや航空管制官には絶対に必要になってくるので、日頃からどのように言えば相手により良く伝わるかなどを考えて説明できるように心がけています。そして将来、もしその職業に就いた時は、自分の明るさなどを生かして仕事をしたいと思っています。大変なことがあっても自分らしく対応して、人に感謝してもらえようになりたいです。さらに、その仕事の楽しさや良さを味わいたい」と思えるような職業に就きたいと思っています。
 (一部省略)

二年二組 柴田 慧

僕には一つだけ「限界」や「中途半端」という言葉で終わらせたくないことがあります。それは、「人のために役立つ人になる」ということです。具体的には、自衛隊に入るといことです。小学校六年生の時、東日本大震災がありました。現在もその震災で苦しんでいる人がたくさんいます。地震の際、中心となって活動していたのが自衛隊員でした。震災直後、自分がテレビなどで見た活動は、冷たい泥だらけの川に入り、がれきの片づけをしているもので、誰もがやりたくない地味で辛そうな活動でした。このとき初めて自衛隊を知りました。そして自分もなんと

なく自衛隊の人達みたいにな人の役に立つ仕事が出来たいと思うようになりました。その後とてもラッキーなことに宇都宮北駐屯地で職場体験をすることができました。そこで実際の仕事内容や苦労したことやどうすれば自衛隊に入ることが出来るかなどを知ることができました。自分にとって忘れられない経験ができました。この職場体験をきっかけに、自分も自衛隊の人達のように活動したいという思いが強くなりました。
 僕は、自分の目標に向かって諦めずに努力し、目標を現実のものにしたいと思っています。そのためには皆さんの努力をしなければなりません。まずは中途半端な気持ちで考え直し、普段の生活から変わろうとする努力をしたいと思っています。何事にも全力で取り組み諦めない、そして相手の気持ちを考え行動できるような人になりたいと思います。そしていつか多くの人から必要とされる人になりたいと思います。
 (生徒会会長 新井 大気)

第七期生徒会

先日、生徒会選挙が行われ、次のとおり会長、副会長が決定いたしました。なお、他の役員については、今後選出される予定です。

- 生徒会会長 新井 大気
 副会長 坂田 拓海
 薄羽珠ノ介

新生徒会長挨拶

学期末をむかえ、本年度も残すところわずかになりました。生徒会のメンバーが決まりましたのでご報告させていただきます。

昨年は、三年生を送る会や体育祭などといった行事を生徒会が中心に企画し、盛り上げてきました。今年はそのほかにも生徒会が出来ることを考えて実行していきたいと思っています。「やる言ったらやる」これを掲げて皆さんの期待に応えられるような生徒会を作っていきます。どうぞ応援よろしくお願いします。
 (生徒会会長 新井 大気)

検 定 試 験

実用英語技能検定

【準二級】

- 奥野 拓也 皆川 智宏
 石毛 達大 高田 瑛蘭

【三級】

- 岡本 一仁 齋藤 祐貴
 鈴木 理仁 辻 正義
 手塚 駿 廣田 竜一
 飯藤 南美 蛭田 彩音
 鈴木 優太 皆川 哲儀

日本漢字能力検定

【準二級】

- 鈴木 理仁

【三級】

- 大槻 玲弥 岡本 一仁
 齋藤 祐貴 須藤 直暉
 田崎 穂積 手塚 駿
 皆川 智宏 朝妻 亮介
 石毛 達大 武田 朱音
 飯藤 南美 井上 友貴
 半田 智愛 山本 萌絵
 渡邊 千優 黒田 燎

本校中学校の伊藤正孝事務長が、去る一月二十四日にご逝去なされました。

伊藤先生は、本校のみならず、文星女子高でも教鞭をとられ、本学園に長い間お勤めになられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

文星フォトギャラリー



中学校 / スキー教室



中学校 / 立志式



中学校 / 社会体験



予餞式



高校(総合ビジネス科)・総合体験



ジョイント
コンサート



音楽部 / 和太鼓部



予餞会